

中学生版 テーマ8 ケータイ・スマホの使用とわが家のルール

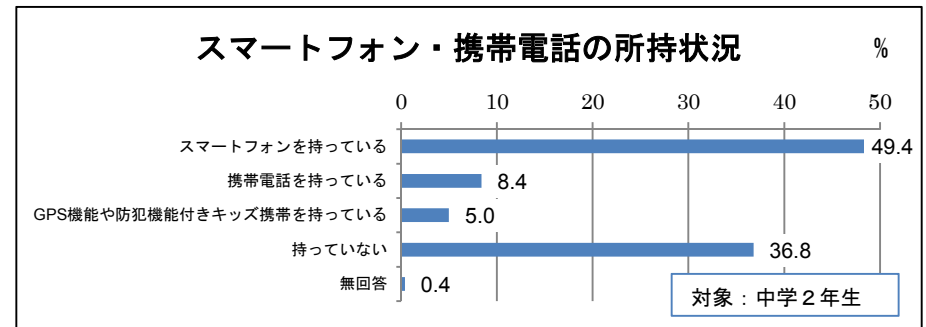
【ねらい】

◇近年、スマートフォンの無料通信アプリが子どもたちの生活に浸透し、常に触っていないと不安になったり、メールができないと情緒不安定に陥ったりするなど、スマートフォンへの依存は日常生活に支障をきたすことがあります。その所持や使用にあたっては、親子でよく話し合い、子ども任せにするのではなく、適正な使用ができるよう家庭内のルールづくりを進めましょう。

【活動の流れと支援のポイント】

1 自己紹介 および アイスブ レイク	<p>○4～5人のグループをつくり、自己紹介をする。 (10人までであれば全体で話してもよい)</p> <p>○グループ編成の時には下記のような工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生日順、ジャンケンで3回勝った順などで一重円になり人数ごとに区切る。 ・トランプやくじ引きを利用し班を決定する。 <p>○簡単な名札や席札をつくり、名前を覚えやすいようにする。</p> <p>○グループ内で進行役、記録役、発表役を各一人決める。</p>
2 テーマにつ いて深める	<p>○ワークシートのリード文を読み、語り合いのテーマを確認します。</p> <p>○アンケート調査結果の資料や事例を読み、自分の考えや感じたことをワークシートの1、2に記入する。</p>
3 語り合いの 約束を確認 する	<p>○語り合いに入る前に、約束を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここだけの話にする。(個人情報に関することについて) ・相手の考えを頭ごなしに否定しない。 ・自分だけが長く話すぎない。 ・発言を強要しない。
4 語り合い 活動 1	<p>○親として気をつけたいことについて語り合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、ワークシート1、2に記入したことを伝え合う。 ・それぞれの家庭の考えを交流しやすいよう、だれもが気軽に発言できるような雰囲気づくりに心がける。
5 語り合い 活動 2	<p>○事例を読み、ルールづくりは子どもを守るために必要であることを確認し、携帯電話やスマホの使用について、家庭におけるルールを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親が一方向的に押し付けるのではなく、親として提案したいルールを考え、ワークシート3に記入する。 ・考えたルールをグループで発表し、交流する。
6 まとめ	<p>○話し合いの中で参考になったことをワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間に余裕があれば、全体で数人に発表してもらおう。 ・シートのPOINTについて確認し合う。
7 ふりかえり	<p>○話し合った内容をふりかえり、互いにお礼を言って話し合いを閉じる。</p>

【参考資料】



【子どもとメディアに関する意識調査 公益社団法人 日本PTA全国協議会 2016】

＜滋賀県スマホ宣言 2016＞

- ①もっと一緒に時間を過ごそう！
- ②スマホは永久 子どもは一瞬
- ③親と子が 両方守れるルールを作ろう

＜スマホ特別委員会が出された意見より＞

○子どもたちからの意見

- ・スマホは無いものに触れることができる。
- ・世界が広がる。
- ・友だちと喋っていることが楽しい。
- ・今だからできることを楽しみたい。

○大人からの意見

- ・SNSに縛られた今の時代の子どものしんどさを親も理解してあげたい。
- ・スマホの利便性を理解しつつもダメなものはダメ。
- ・子どもを守っていくにはものわりの良い親ではダメな時もある。時には、「闘う親」にもなりましょう。
- ・大人もスマホに関する情報をよく知り、子どもたちの平成の常識と大人たちの昭和の常識を互いに理解し、親子・家族で歩み寄り話し合うことが大切。

○まとめ (アンケート結果から)

おかんのスマホ使用時間が長いほど、その子どももスマホの時間が長くなる傾向にある。

おかんへの提言・・・スマホを見るより私を見て！

話し合いの中で、使用について親子でルールを作ることが重要だという意見が多く出された。

【平成28年度滋賀県スマホサミット】